

評価書案についての意見書の概要及び事業者の見解（騒音・振動）

評価書案についての意見書の概要	左の意見書に対する事業者の見解
<p>工事用車両の走行による騒音について、周辺環境への影響をできる限り低減すると謳われていますが、時間帯については、述べられていない。夜間（PM6 時以降）は、作業を禁止すること。</p>	<p>今後、近隣の住民の方々のご意見を踏まえ、詳細な工事計画を策定して参ります。なお、特定建設作業につきましては、法、府条例を遵守し、騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間に行います。</p>
<p>施設の供用による騒音の予測について、「歓声及び空調設備等の稼働により発生する騒音予測結果と環境基準値等の比較に対して」先ず、見直しをして下さい。到達騒音レベルが、平日・休日とも皆同じはおかしい。清水地区以外での高層住宅に配慮して、現況調査、予測及び評価を実施するとの意見に、事業者見解では、高層での予測も実施したとのことですが、スタジアム建設地から直線 300メートル西側にあるインペリアル万博公園マンション（14 階建て）の屋上にての計測がされていません。再度、騒音・振動の調査をしてください。</p>	<p>到達騒音レベルとは、施設（スタジアム）からの騒音が、各予測地点においてどの程度の大きさになるかを予測した値です。平日・休日とも、施設の稼働状況の設定は同じであり、よって、到達騒音レベルも同じとなります。</p> <p>騒音の予測については、事業計画地の周辺の住居地の代表的な地点で行っており、ご指摘のマンションにおける影響は、事業地から約 300m の環境 1 とほぼ同様となり、約 150m の環境 3 よりも小さくなると考えております。</p>
<p>地上 42m、グラウンド上を除く四方には屋根がつくとのことであるが、同構造・同タイプのスタジアムがあれば、その遮音効果等のデータを示していただけるか。</p>	<p>遮音効果については、建物の構造・材質・設備配置など、様々な要因で変化することから、本スタジアムと同様の施設の遮音効果等のデータとして、お示しすることは困難です。評価書案の騒音予測については、本スタジアムの屋根の構造・材質等の諸元を元に、回折減衰等の騒音低減効果を踏まえて予測しております。</p>
<p>勝っても、負けても、試合が終われば騒ぎながら帰るのが観客の心理である。ナイターの試合がほとんどで、周辺の生活道路で騒ぐことが懸念される。総合的な対策が必要である。</p>	<p>現状では、大半のサポーターについては、騒がず整然と帰っていると思います。一部騒がしいサポーターも居るかもしれませんが、そのようなサポーターの行動につきましては、呼びかけを行い、マナー向上に努めます。また、状況に応じて、警備員を配置するなどの対策を講じます。</p>

評価書案についての意見書の概要及び事業者の見解（騒音・振動抜粋）

評価書案についての意見書の概要	左の意見書に対する事業者の見解
<p>太鼓による応援は禁止し、サッカー特有の踏み鳴らす応援はやめていただきたい。また、スタジアムの屋根は、観客席の上部だけでなく、フィールド内まで伸ばし、全面屋根付きとしてほしい。その他、施設には防音、吸音材を多用する、スピーカー設備は内方向、下方向に付設する、必要以上の音量で放送しないなど使用可能な限りの対策を実施してもらいたい。</p>	<p>評価書案の騒音予測については、長居陸上競技場で開催された日本代表戦での調査結果を使用しています。観客数 42,000 人以上で、太鼓などを使用した応援の音も含まれた音をもとにしており、大きな影響はないのではないかと予測しております。また、この予測の前提とした、試合開催時には壁面の開口部を閉鎖するなどの対策を確実に実施いたします。放送設備については、周辺への影響をできるだけ軽減するよう配慮した設計といたします。なお、供用後に問題が生じる場合には、太鼓による応援を禁止するなどの対応も含め、対応を検討・実施いたします。</p>
<p>当マンション（山田東 3 丁目）は 13 階建てで、このたびのスタジアム建設の位置から約 500m しか離れていません。現在でも万博公園内で行われるイベントではかなりの騒音が響きます。特に、当マンションの 7～10 階は障害物もなく騒音をさえぎることができません。当マンションの上層階において是非とも騒音調査を実施していただきたい。</p> <p>また、事業案での建築物では一部屋根付きのスタジアムとしていますが、風の向きによっては相当の騒音に悩まされることとなります。是非とも「東京ドーム」のような全面の屋根付きとして建設していただきたいと考えております。</p>	<p>スタジアムにおいて、花火の打ち上げを行うことは考えておりません。</p> <p>なお、事後調査における騒音測定地点については、今後検討いたします。</p>
<p>騒音について、当マンション（山田東 3 丁目）の最上階の住民（高齢者）の話として、現スタジアムや近隣施設から届く騒音、花火の折には炸裂音に加えて煙までもが窓から侵入してくる現状があり、より近接する建設計画に対して大変心配しておられる。</p> <p>当マンション屋上にて騒音調査を行って欲しいとの要望であるが、可能か。</p>	
<p>試合開催中、マンション上層階への騒音影響は、環境影響評価書案では、試合中でも影響は小さいと記載されています。しかし、当マンション（山田東 3 丁目）は 14 階建てであり新スタジアムからは至近距離になるために高層階を中心に騒音の影響を受けるのではないかと依然懸念をしております。住人が騒音で悩まされることがないように、計画通りスタジアムを建設することに併せ応援団への対策も十分にさせていただくようお願いします。</p> <p>現在、スタジアム建設のための募金額は目標額に足りていないが、建設開始までには、目標額を目指すとのことでした。しかしガンバ大阪の J2 降格により今後益々、募金は集まりにくくなると思います。資金不足の中、スタジアムの建設を見切り発車し屋根や防音壁等の防音のための仕様を見直すことがないよう厳にお願いします。</p>	<p>環境保全に必要な屋根や防音壁などは必須設備と考えており、これらについては確実に実施します。さらの利便性の高いスタジアムとできるよう、関係者一同全力を挙げ募金活動を行ってまいります。</p>

評価書案についての意見書の概要及び事業者の見解（騒音・振動抜粋）

評価書案についての意見書の概要	左の意見書に対する事業者の見解
打ち上げ花火の自粛、自動車の警笛等の規制をすること。	スタジアムにおいて、花火の打ち上げを行うことは考えておりません。また、観戦者にはマナー向上を呼びかけ、周辺住居地へご迷惑をおかけしないよう、配慮してまいります。
事業の内容について、提案書からの改善はしたのか。	振動については、建物構造に配慮し、外部への振動の影響が小さくなるような計画とし、騒音についても、より影響が小さくなるよう建物構造について検討しています。
騒音について、スタジアム建設地から西南方向にある 3 丁目の当地区（別所地区・インペリアル万博公園）は、風向きによる音量が拡大することが何度もあります。騒音振動測定は、このことも視野に入れて実施願いたい。	事後調査を実施する際には、風向測定も行うなど、配慮します。
騒音・防犯対策を含めて治安対策について地元自治会と話し合いをお願いしたい。	所有者である吹田市、指定管理者となる予定のガンバ大阪、地権者である万博記念機構などのステークホルダーとともに、地域住民の皆さんと一緒に問題を改善できるよう協力していきたいと思います。